科目名	法思想史　　History of Legal Thought						
科目担当者	中本 幹生　　NAKAMOTO Mikio						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科［専門教育科目　専門科目］ 他学部他学科履修〇					ディプロマポリシーとの関連	(1)（4)
授業の概要	この授業では、古代から近代にいたるまでの西洋における法思想の流れを概観します。しかし、法思想を深く理解するにはその根幹となる西洋の思想史そのものを理解することも必要となります。従ってこの講義では、西洋の思想史的な流れも同時に見据えつつ、とくにその法の思想に焦点を当てて概観する、という形をとることになります。過去から現代に至る法思想の流れと由来を理解することで、歴史における現在の私たちの立ち位置も見え、現代社会の諸問題についても自分なりに考えることのできる素地を養うことができるでしょう。						
授業の到達目標	①古代から近代にいたる西洋の法思想を理解することができる。 ②西洋の様々な諸思想を、系統的に関連づけて理解することができる。 ③様々な法思想を踏まえた上で、物事を多角的に自分自身で考えることができる。 ④過去の諸思想を踏まえた上で、現代社会の諸問題について、長期的な視野から考えることができるようになる。						

授業計画・内容		
	1	ギリシア以前の法思想
	2	ソフィスト：ピュシスとノモス
	3	ギリシアの法思想
	4	プラトン、アリストテレスの国家論
	5	ストア学派の自然法思想（1）：基本思想
	6	ストア学派の自然法思想（2）：法思想
	7	中世の法思想（1）：アウグスティヌス、トマス・アクィナス
	8	中世の法思想（2）：オッカム
	9	ホッブズとロックにおける自然法
	10	ルソーの社会契約論
	11	功利主義の法と倫理
	12	法実証主義
	13	ロールズ、ノージックの正義論
	14	自然の権利論
	15	まとめ

授業外学修 (事前学修)	毎回、授業範囲を予習し、専門用語の意味等をあらかじめ調べておくこと（毎週 2 時間程度）
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を整理し、不明な箇所を調べておくこと（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応	成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
	定期試験	100%	①②③④

成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合
教科書	なし
参考文献	授業中に適宜指示する
その他	各回ごとの授業内容は、授業の進行に応じて一部変更することがあります。